

## ヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習

### 目次

	頁
やしま 八洲学園大学のヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習	2
八洲学園大学のヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習の特色	2
受講の仕方	3
受講申し込みから修了証明書の発行までのフロー	4
ヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習の日程と内容	5
修了試験について	7
アンケートのご協力をお願いします	9
受講の条件	10
受講料と納付方法	10
受講申し込みと免許状更新講習修了証明証の発行	11
問い合わせ先	12
受講に必要なパソコン環境	12
講師紹介と講師からのメッセージ	13

### 平成 22 年度「ヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習」の概要

八洲学園大学のヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習は、講師と受講者、受講者同士の人間的要素を重視する e ラーニングです。

#### 1 日程

申込期間：平成 22 年 10 月 1 日（金）～10 月 15 日（金）

必修講習：平成 22 年 11 月 6 日（土）、11 月 7 日（日）

選択講習：平成 22 年 11 月 13 日（土）、11 月 14 日（日）、11 月 20 日（土）

試験日：平成 22 年 12 月 5 日（日）

#### 2 修了試験は横浜本学キャンパスの他、甲府市でも実施します。

会場に来られない場合には、試験監督委託型修了試験を受験することも可能です。

#### 3 受講の申込：八洲学園大学ホームページからお申し込みください。

<http://www.yashima.ac.jp/univ/>

#### 4 受講料：必修（12 時間）：12,000 円（本学在学生等：10,000 円）

選択（各 6 時間）：6,000 円（本学在学生等：4,000 円）

#### 5 問い合わせ先：八洲学園大学 学生支援センター（e メールでお願いします）

お問い合わせ先メールアドレス u-yue@yashima.ac.jp

電話 045-410-0515

## ヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習

### やしま 八洲学園大学のヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習

八洲学園大学は、文部科学省の認定を受け、経験豊かで著名な講師陣による教員免許状更新講習を実施します。

教員免許状更新講習については、下記の文部科学省のサイトをご覧ください。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm)

### 八洲学園大学のヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習の特色

八洲学園大学のヒューマン e ラーニング教員免許状更新講習は、講師と受講者、受講者同士の人間的要素を重視する e ラーニングで、次のような特色をもっています。

- 1 大学に通わずに、自宅等でインターネットを活用して受講できます。
- 2 双方向ライブ配信の講習ですので、チャット<sup>注1</sup>を使って講師に質問したり、受講生同士がディスカッションをしたりすることができます。
- 3 オンデマンド配信<sup>注2</sup>により、一定期間中は何度でも視聴することが可能です。

---

注 1 チャットとは、画面を使ってメール発信のように受講生が受講中にリアルタイムで質問したり、意見を述べたりできる機能です。

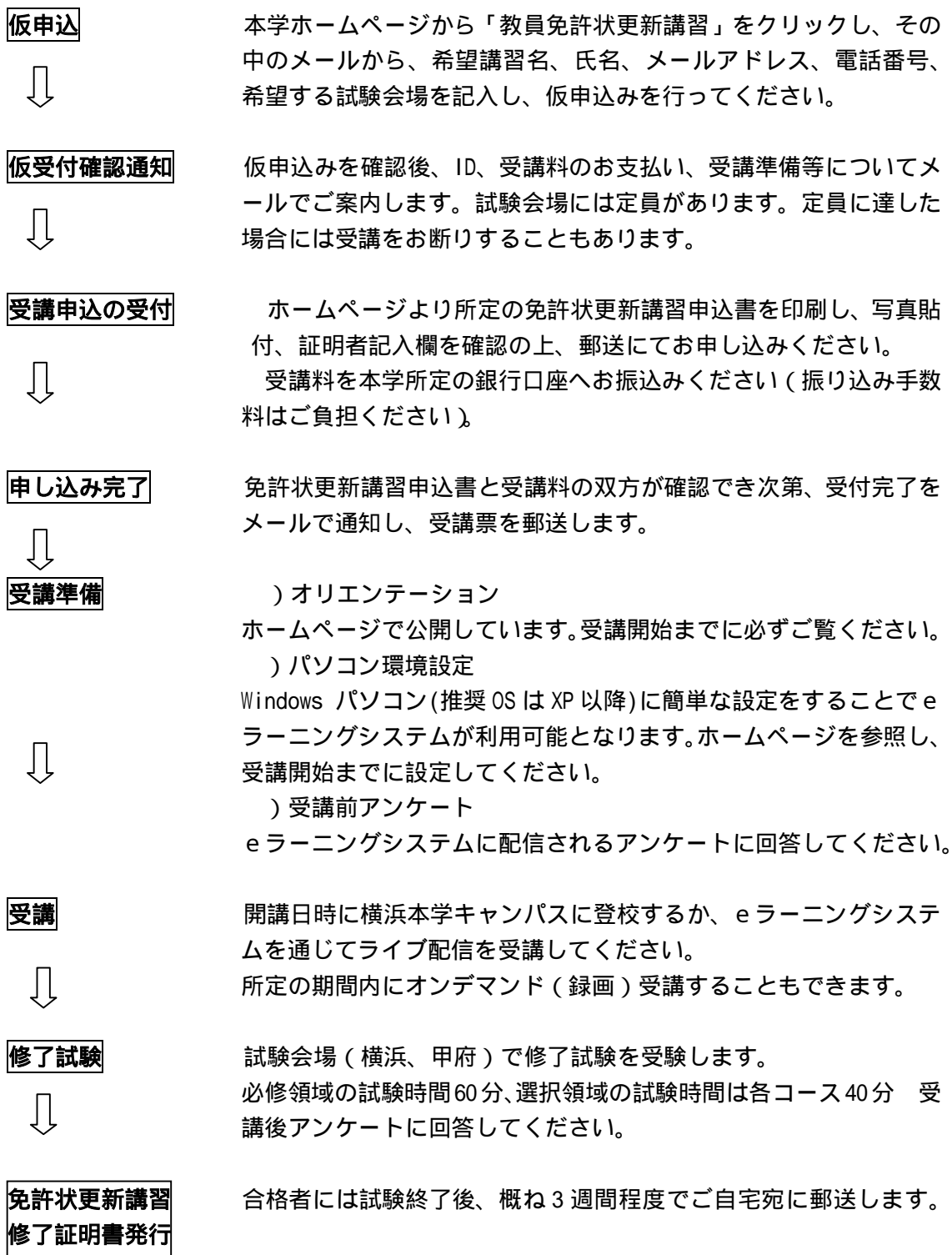
注 2 オンデマンド配信とは、収録したコンテンツ（本講習ではライブ配信した講義等）を録画しいつでも視聴できるようにする配信形態です。

## 受講の仕方

- 1 対象期間中であればいつでもオンデマンド(録画)を受講することができますが、本学独自のライブ配信受講は、通学して受講するのと同じような臨場感があります。必修領域、選択領域とも1コマ以上は、開講日時に開講日時にインターネットを通じてライブ受講するか、横浜本学キャンパスに通学して受講することをお勧めします。オンデマンド受講はライブ配信の翌日から修了試験前日17:00まで可能です。
- 2 修了試験は横浜会場(本学)のほか、甲府会場でも実施する予定で、来場する必要があります。修了試験会場に来ることができない遠隔地に居住している、学校行事等と重なっている等の理由で修了試験にも受験できない受講者は、監督者委託型修了試験で受験することができます。詳しくは、「監督者委託型修了試験実施要項」(P8)をご覧ください。
- 3 オリエンテーション(説明会)はホームページで公開しています。どなたでも視聴可能ですので、必ずご覧ください。
- 4 講習は八洲学園大学エクステンションeラーニングシステムyue(ユー)を使います。(以下、yueシステムという。)

- 
- 注4 コマは、「9:30~10:30」「10:40~12:10」「13:00~14:30」「14:40~16:10」にわかれています。したがって、本学の必修領域は8コマ(2日間)、選択領域の各コース4コマ(1日)で構成されています。ライブ配信受講は日時が特定されますので、プログラムを確認し、受講したいコマをお選びください。
- 注5 本講習では、ライブ配信された講習を収録して、後からオンデマンドで公開します。オンデマンド受講とはそれを受講する形態で、期間中は何度でも視聴できます。ただし、チャットでの参加はできませんので、意見交換等は掲示板を利用してください。

## 受講申し込みから修了証明書の発行までのフロー



## ヒューマンeラーニング教員免許状更新講習の日程と内容

ライブ配信の日程と内容は下記の通りです。この日時に通学受講もできます。オンデマンド受講は、ライブ配信の翌日から修了試験前日 17:00 まで可能です。

### 【必修領域：ヒューマンeラーニング講習「教師のための教育最前線」】

本学の教授陣による子どもの生活の変化に対応した学級経営、生徒指導の在り方、学校への組織マネジメントの取り入れ方、コミュニケーションスキル、特別支援教育の課題等を取り上げます。

### 【必修領域】講師・講義内容・ライブ配信日時一覧

講師名	講義内容	ライブ配信日時
浅井経子	法令改正及び国の審議会の状況等 ・法令改正、国の審議会の状況等	11月6日(土) 14:40~16:10(1.5時間)
鈴木啓之	学校をめぐる近年の状況変化 ・客観的・具体的材料の適切な利用 子どもの発達に関する脳科学、心理学などにおける最新の知見 ・子どもの発達に関する脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容 ・特別支援教育に関する新たな課題(LD、ADHD等) 学校における危機管理上の課題 ・内外の安全確保に関する内容 ・情報セキュリティなど近年の状況を踏まえた内容	11月7日(日) 13:00~16:10(3.0時間)
沼倉佑栄	様々な問題に対する組織的対応の必要性 ・学校組織の一員としてのマネジメントの形成 ・対人関係、日常的コミュニケーションの重要性 子どもの生活の変化を踏まえた課題 ・カウンセリングマインドの必要性	11月7日(日) 9:30~12:10(2.5時間)
渡邊達生	学習指導要領の改訂の動向等 ・総則の趣旨の理解 ・子どもの実態を踏まえた道徳・特別活動の指導 ・その他近年の状況を踏まえた内容 教員としての子ども観、教育観などについての省察 ・教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄 子どもの生活の変化を踏まえた課題 ・多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割 ・生活習慣の変化を踏まえた生徒指導	11月6日(土) 9:30~14:30(4.0時間)

修了試験：12月5日(日)13:00 ~ 14:00

注 オンデマンド受講期間は、上記のライブ配信の翌日からその期の修了試験前日 17:00 まで

## 【選択領域】

教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項について学びます。修了試験時間を含めて18時間以上の講習を受講する必要があります。

本学の選択領域の「ヒューマンeラーニング講習」は選択A、選択B、選択Cの3コースを実施します。本学のみで、18時間の選択領域すべての講習を受講する場合には選択領域3コースとも（6時間×3コース）を受講する必要があります。

## 【選択領域】コース別講習内容

選択Aコース	<p><b>ヒューマンeラーニング講習「武道と青少年教育*非行と前兆行動」</b></p> <p><u>武道と青少年教育(担当：大石純子)</u> 武道の文化性としての対人的な運動形態、特有の心法論（心のあり方）などを踏まえ、青少年教育のあり方を考えます。</p> <p><u>非行と前兆行動(担当：赤沼幸子)</u> 少年非行の実態や要因、“良い子”が突然キレる「いきなり型」の行動、前兆行動等を取り上げ、それらへの対応策を考えます。</p>
選択Bコース	<p><b>ヒューマンeラーニング講習「子どもを育む学校図書館*共感を育成する古典指導法」</b></p> <p><u>子どもを育む学校図書館(担当：高鷲忠美)</u> 読書指導の意義について考え、学校図書館のあり方について先進事例を取り上げながら考えます。</p> <p><u>共感を育成する古典指導法(担当：中田雅敏)</u> 共感の感情を呼び起こす韻文（詩、短歌、俳句）の指導法等について取り上げます。</p>
選択Cコース	<p><b>ヒューマンeラーニング講習「教師に役立つ教育行政*公共論」</b></p> <p><u>教師に役立つ教育行政(担当：齋藤荘之助)</u> 現在の教育行政の諸原則について判例等も引用しながら検討します。教育と行政の関係を理解することは教師にとって極めて重要です。</p> <p><u>公共論(担当：石井雅之)</u> 自己・人間中心的な考え方は現代の教育問題の根底に潜んでいますので、身近な問題を取り上げ他を思いやる心と公共心について考察します。</p>

## 【選択A～Cコース】講師・講義内容・ライブ配信日時一覧

	コマ 実施日	9:30	10:40	13:00	14:40
		～10:30	～12:10	^14:30	～16:10
(選択A)ヒューマンeラーニング講習 「武道と青少年教育*非行と前兆行動」	11月13日(土)	大石純子 (武道と青少年教育)	赤沼幸子 (非行と前兆行動)		
(選択B)ヒューマンeラーニング講習 「子どもを育む学校図書館*共感を育成する古典指導法」	11月14日(日)	高鷲忠美 (子どもを育む学校図書館)	中田雅敏 (共感を育成する古典指導法)		
(選択C)ヒューマンeラーニング講習 「教師に役立つ教育行政*公共論」	11月20日(土)	石井雅之 (公共論)	齋藤荘之助 (教師に役立つ教育行政)		

修了試験：12月5日(日)14:10～16:10

注 オンデマンド受講期間は、上記のライブ配信の翌日からその期の修了試験前日17:00まで

## 修了試験について

横浜会場、甲府会場で受験する方は下記のような日程で実施します。各会場とも定員がありますので、申込順に定員に達し次第締め切ります。

遠隔地にお住まいなどの理由で、会場に来られない方は監督者委託型修了試験で受験することができます。P8をご覧ください。

### 1 修了試験時間

必修領域の修了試験時間は60分です。

選択領域の修了試験は各コースとも40分間です。

### 2 修了試験会場と日時

【横浜会場（本学）】八洲学園大学 <定員 100名>

〒220-0021 横浜市西区桜木町 7-42 電話 045-410-0515

<http://www.yashima.ac.jp/univ/>

【甲府会場】 LILA（ライラ，Life Long Academy）研修室 <定員 30名>

〒400-0075 山梨県甲府市山宮町 657-1 電話 055-236-8864

<http://www.lila.vc>

月 日	必修領域の試験時間帯	選択領域の試験時間帯
平成 22 年 12 月 5 日（日）	13：00 ～ 14：00	14：10 ～ 16：10

選択領域の講習を 1 コース受講した人は 14:10～14:50、2 コース受講した人は 14:10～15:30、3 コースとも受講した人は 14:10～16:10 が試験時間になります。

### 3 修了試験の出題形式と採点基準

出題形式：必修領域、3 つの選択領域のコースとも、200 字程度の論述問題をそれぞれ 2 問出題する予定です。

採点基準：講習内容について理解しているかで採点し、60 点以上を合格とします。

注意事項：試験問題はやさしい内容ですが、講習で取り上げた内容に即した問題ですから講習内容を理解するようにしてください。

### 4 修了試験を受験する際の注意事項

受講票を必ずご持参ください。忘れた場合には修了試験を受けることができませんので、くれぐれもご留意ください。

遅刻しないようにしてください。

ノート、参考書等の持ち込みは自由です。

## 5 監督者委託型修了試験について

八洲学園大学の「ヒューマンeラーニング教員免許状更新講習」は、遠隔地にあつて、あるいは学校行事等の勤務がある理由等で、試験会場に到場することが困難な受講者については、下記の条件を満たした場合に監督者委託修了試験で受験することができます。

詳しくは「八洲学園大学 教員免許更新講習の監督者委託型修了試験実施要項」をダウンロードしてご覧ください。

- 1) 本学が開設する試験会場に到場できない理由が明らかであること。
- 2) 所属学校長等、所属学校を所管する教育委員会（教育事務所を含む）の指導主事等に事前に監督者となることへの了解を得、かつ試験会場を所属学校または所管する教育委員会事務局（教育事務所を含む）施設内で確保できること。
- 3) 上記の申請書を審査し問題ないと認めるときに、監督者となるものに本学から委託依頼状を送付し、その監督者の責任下で修了試験を実施すること。
- 4) 期日までに不慮の事故等で答案用紙が本学に返送されなかった場合、本学が責任をとることはなく、本学は受験したものと認めないことを承諾すること。

### 監督者を委託する場合の条件

- 1) 監督者となる人の内諾を得てください。監督者として、次の人に委託することができます。  
所属学校の校長、副校長、教頭、または校長が責任をもって指名した人。ただし、校長、副校長、教頭に準じる人に限ります。  
教育委員会事務局（教育事務所を含む）の指導主事、または教育委員会事務局担当課長が責任をもって指名した人。ただし、指導主事に相当する人に限ります。
- 2) 試験会場を確保してください。試験会場は学校、教育委員会事務局（教育事務所を含む）の施設等とします。
- 3) 監督者委託型の修了試験を受験しなければならない理由を必ず明記してください。審査の結果、妥当と認められない場合にはお断りすることもあります。
- 4) 申請書類等に不備がないようにしてください。不備があった場合にはお断りすることもあります。
- 5) 監督者委託型の修了試験は、本学が実施する試験後1週間以内に実施してください。
- 6) 監督者の手当、会場費を本学がお支払いすることはありません。
- 7) 申請書は本学での試験実施日の2週間前までに提出してください。

### 試験時間

【必修】60分

ヒューマンeラーニング講習「教師のための教育最前線」

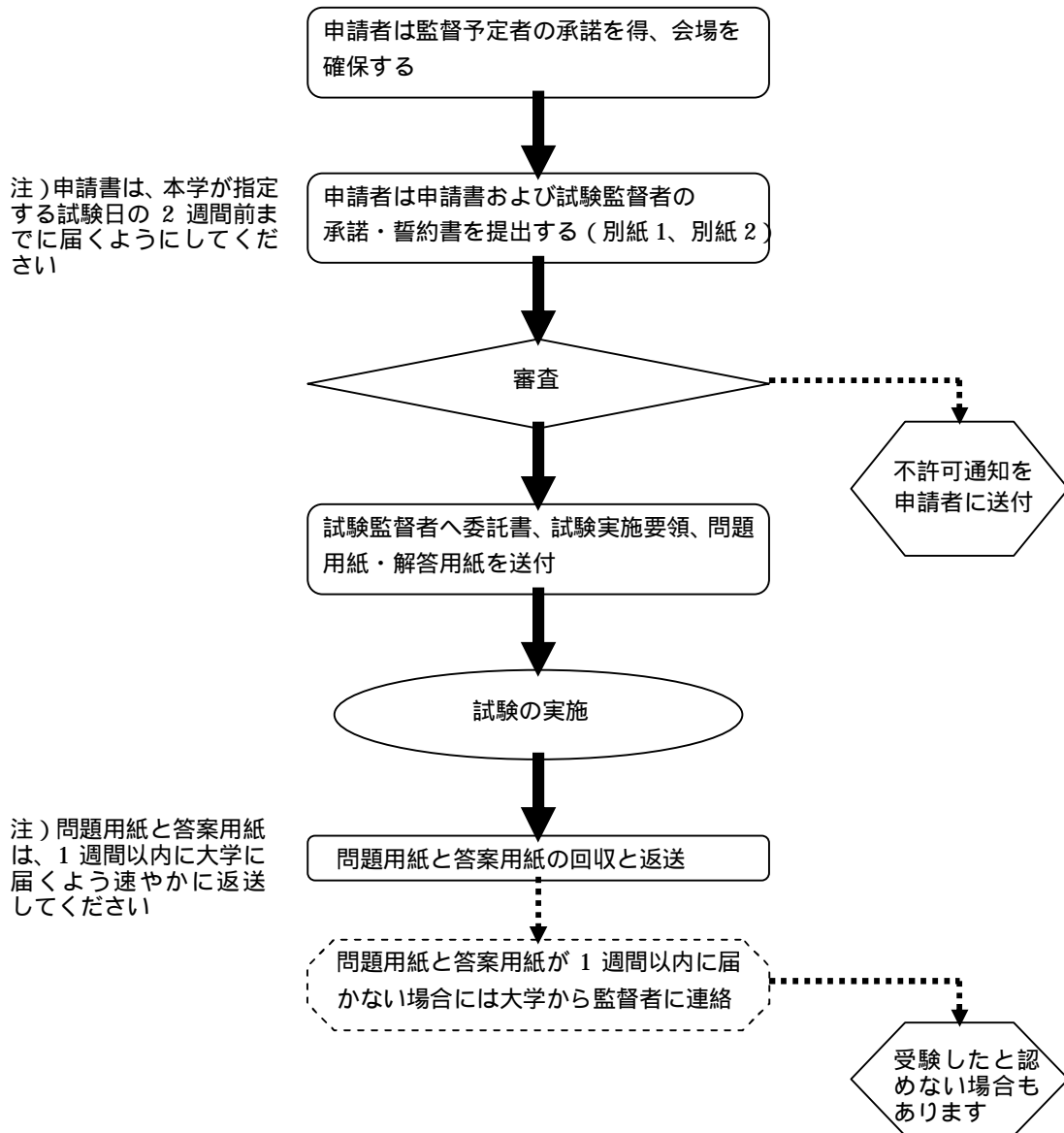
【選択】各40分

ヒューマンeラーニング講習「武道と青少年教育\*非行と前兆行動」

ヒューマンeラーニング講習「子どもを育む学校図書館\*共感を育成する古典指導法」

ヒューマンeラーニング講習「教師に役立つ教育行政\*公共論」

## 監督者委託型修了試験実施までのフロー



### アンケートのご協力をお願いします

本学のヒューマンeラーニング教員免許更新講習をよりよいものにするために、受講前アンケートと受講後アンケートを実施します。必修領域、選択領域のコースごとにアンケートにお答えください。ご協力をお願いいたします。

- ・ 受講前アンケート：本学のヒューマンeラーニング教員免許更新講習に対するご希望等をお伺いします。講習が開始されるまでに回答してください。
- ・ 受講後アンケート：本学のヒューマンeラーニング教員免許更新講習を受講された感想や改善した方がよいところ等を中心にお伺いします。修了試験後1週間以内に回答してください。

yueシステムの中にアンケート機能があり、システムを通じて回答いただきます。

## 受講の条件

本学のヒューマン e ラーニング講習に申し込まれた場合には、下記の点を承諾したものとみなしますのでご了承ください。

- 1 e ラーニングで受講する場合には、一定のパソコン環境が必要です。詳しくは「受講に必要なパソコン環境」(P12)をご覧ください。パソコンの詳しい知識は不要です。パソコンの苦手な方は横浜会場（本学）に通学して受講してください。
- 2 ライブ配信受講者のお名前は画面に表示され、チャットで質問や意見を述べられたときにもお名前が表示されます。お名前とチャットの内容はオンデマンド配信の際にも表示されます。

オンデマンド配信を視聴できるのは、その年度のその期の受講者や講師等ですから、学外に公開されることはありませんので、ご安心ください。ただし、講師に事故があった場合など何らかのトラブルが生じたときには、前の期に実施した講義を配信させていただきます。

## 受講料と納付方法

### 【受講料】

必修（12 時間）： 12,000 円（本学在学生、学園関係者の場合は 10,000 円）

選択（各 6 時間）： 6,000 円（本学在学生、学園関係者の場合は 4,000 円）

必修領域 + 選択領域の 3 コースを受講	30,000 円
必修領域 + 選択領域の 2 コースを受講	24,000 円
必修領域 + 選択領域の 1 コースを受講	18,000 円
必修領域のみを受講	12,000 円
選択領域の 3 コースを受講	18,000 円
選択領域の 2 コースを受講	12,000 円
選択領域の 1 コースを受講	6,000 円

### 【納付方法】

受講申込書を郵送後に、次の銀行口座にお振り込みください。

金額をお間違えないように上記の表をみてご確認ください。

三井住友銀行 玉造(タマツクリ)支店 八洲学園大学(ヤシマガクエンダイガク)

普通預金 口座番号 6551324

### 【キャンセル料について】

受講料を納入後に受講キャンセルをした場合には、事務手数料 2,000 円をご負担いただいた後、差額を返金いたします。

## 受講申し込みと免許状更新講習修了証明証の発行

日程（予定ですので変更の可能性もございます。）

仮申込期間	受講申込書 受付期間	受講票発送	修了証明証発送
9月15日(水) ～9月30日(木)	10月1日(金) ～10月15日(金)	10月15日(金) ～10月29日(金)	12月27日(月)

### 1 受講申し込み

#### 仮申込

- ・ 八洲学園大学ホームページから「教員免許状更新講習」をクリックして、その中のメールで、**希望講習名、氏名、メールアドレス、電話番号、希望する試験会場**を記入し、仮申込みを行ってください。
- ・ 仮申込みを確認後、ID、受講料のお支払い、受講準備についてメールでご案内します。  
\* 上記以外の方法では受け付けません。  
修了試験会場の定員に達し次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。

#### 受講申込書の受付（正式の受講申し込み）

- ・ 免許状更新講習申込書は、ホームページからダウンロードして印刷してください。
- ・ 免許状更新講習申込書に記入もれや記入ミスがないよう正確に記入してください。（下記の「免許状更新講習申込書の記入上の注意」を参照）
- ・ 免許状更新講習申込書を大学に郵送してください。
- ・ 受講料を所定の口座にお振り込みください。（前項の「**受講料と納付方法**」をご覧ください。）

#### 受講票の発送

- ・ 申込書と受講料の双方が確認でき次第、受付完了をメールで通知し、受講票をお送りします。

#### 免許状更新講習修了証明書の発行

- ・ 合格者には試験終了後概ね3週間程度で自宅宛に郵送します。

#### 教員免許状の更新について

- ・ 各自、管轄の教育委員会で更新の手続きを行ってください。

### 2 免許状更新講習申込書の記入上の注意

次の事項については文部科学省のサイトでご確認ください。

修了確認期限（下記のサイトでチェックしてください。）

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/003/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index.htm)

#### 受講対象者の証明の方法

[http://202.232.86.81/a\\_menu/shotou/koushin/08052301/001/001.pdf](http://202.232.86.81/a_menu/shotou/koushin/08052301/001/001.pdf)

## 問い合わせ先

やしま  
八洲学園大学 学生支援センター

メールアドレス：u-yue@yashima.ac.jp

電話：045-410-0515

住所：〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42

## 受講に必要なパソコン環境

大学からのパソコン貸与はありませんので、各自でご用意ください。また、本学のシステムを正常にご利用いただくためには以下の条件が必要となります。この条件を満たしていない場合には動作が保障できません。

### パソコン条件

下記推奨条件を満たす Windows パソコンをご利用願います。

推奨条件	
プロセッサ(CPU)	PentiumIII 750MHz 相当以上
メモリ容量	256MB 以上
空きディスク容量	100MB 以上
ディスプレイ (表示機能)	解像度:1024×768 以上 表示色:6万色以上
サウンドカード	Windows で動作すること
OS(*1)	WindowsXP Professional/Home Edition WindowsVista(*6)
必要なソフトウェア	Microsoft Internet Explorer5.5 以上 (*3) (*7) Windows Media Player 9 以上 Adobe SVG Viewer 3.0 以上 (*4) Adobe Reader 5.0 以上 (*5)

\*1：OS は、“日本語版”をご利用願います。日本語版以外の Windows をご利用の場合、本学システムの利用に支障をきたす場合がございます。

MacOS、Windows95、Windows98、WindowsMe、Windows2000Server はサポートしておりません。

\*2：Server 版での動作はサポートされません。

\*3：最新の Service Pack を適用してください。

\*4：Adobe 社のサイトより無償ダウンロードすることができます。

オンデマンド授業/ライブ授業を受講しない場合は不要です。

\*5：Adobe 社のサイトより無償ダウンロードすることができます。

各種規程や教材などの PDF ファイルを見る場合に必要となります。

\*6：Windows VISTA をご利用の場合には、セキュリティー設定を別途行っていただく必要があります。

\*7：Microsoft Internet Explorer 7 をご利用の場合には、セキュリティー設定を別途行っていただく必要があります。

### 回線条件

本学の授業をインターネットを通じて受講する場合には、ブロードバンド環境が必要となります。ADSL など以下の回線条件を満たしていない場合は、ライブ授業に支障をきたす場合がございます。

必要最低条件：0.5Mbps (500Kbps) 相当以上

推奨条件 : 1.5Mbps ( 1500Kbps ) 相当以上

\*8 : Windows7 について、受講に問題はございませんが、現在のところサポート対象外となっております。

パソコンを活用して受講するには以下のパソコン操作ができるスキルが必要となりますのでご注意ください。

- ・パソコンを自分で起動・停止できる
- ・インターネットブラウザで閲覧操作ができる
- ・文書から他文書へコピーペーストおよびドラッグアンドドロップで文字列を複写・移動できる。

## 講師紹介と講師からのメッセージ (アイウエオ順)

### 必修領域 : ヒューマン e ラーニング講習「教師のための教育最前線」

#### 浅井 経子

##### 【略歴】

八洲学園大学教授。筑波大学大学院博士課程教育学研究科を単位取得退学。淑徳短期大学教授を経て現職。日本生涯教育学会会長、同学会『生涯学習 e 事典』構築・編集委員長、文部科学省「政策評価に係わる有識者会議」委員、内閣府「統計委員会」専門委員、神奈川県教育委員会「かながわ生涯学習ネットワーク推進協議会」委員、兵庫県「県民生活審議会」委員等。

##### 【受講者へのメッセージ】

新学習指導要領は、知識基盤社会においてますます重要視される「生きる力」を継承し、それを支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を目指しています。新学習指導要領に基づき学校教育が効果的に展開されるためには、家庭や地域社会と学校との連携が必要といわれています。そのような観点も含め、本講習では、教育政策の動向、関係法令、学校教育の課題等について取り上げます。

#### 鈴木 啓之

##### 【略歴】

八洲学園大学准教授。東京学芸大学教育学研究科障害児生理・心理専攻、名古屋大学医学研究科環境医学専攻修了。教育学修士、博士(医学)。生理学研究所、ハンブルグ大学医学部生理学研究所、茨城大学情報処理センター、茨城県教育庁教育情報化推進担当、茨城県教育研修センター教育情報ネットワーク管理センターを経て現職。県の教員研修では「教育の情報化」を担当し、教育行政では「危機管理(情報セキュリティ)」「著作物利用」「e-learning 導入」「情報アクセシビリティ」を担当。

##### 【受講者へのメッセージ】

講習は「学校危機管理」と「医学・心理学的知見」の2コマを担当します。また、「学校をめぐる近年の状況変化」の話題として著作物の教育利用や個人情報の取扱いについても紹介します。講習では、チャット・掲示板その他の機能を使っての受講者の皆さんからのフィードバックを得て、受講者の皆さんが関心をもたれる話題等に臨機応変対応していきたい

と思います。

### **沼倉 佑栄**

#### **【略歴】**

八洲学園大学教授。早稲田大学政治経済学部卒業後、日本アイ・ビー・エム（株）に入社し、営業課長、経営管理者研修シニア・インストラクター、営業部長、秘書室長、社長室長、理事、常勤監査役、日本アイ・ビー・エム研修サービス（株）研修アドバイザーを経て、平成18年4月に現職。

#### **【受講者へのメッセージ】**

管理職やリーダーとしての役割、動機付け、問題解決、リーダーシップ等について、実践的・具体的な例を取り上げ、基本的な考え方の理解を図りたいと考えています。また、仕事の上で重要なコミュニケーションのあり方、とり方について、臨床心理学、大脳生理学の観点やコーチングの手法等の観点から取り上げてみました。学校教育の現場で役立てていただければと願っています。

### **渡邊 達生**

#### **【略歴】**

八洲学園大学教授。宮崎大学教育学部卒業後、大分県公立小学校教諭、筑波大学附属小学校教諭、筑波大学講師（道德教育の研究・特別活動の研究）を経て現職。筑波大学附属小学校では、永年にわたり道德の全国公開授業を行う。文部科学省「心のノート」編集協力者委員。

#### **【受講者へのメッセージ】**

子どもたちに居場所ができるようにするために、そして、先生方が教育に生きがいを感じることができるようにするために、特別活動や道德教育があります。その視点をもって今までの教師生活を振り返ってみましょう。子どもとのかかわりづくりの、新たな視点が見つかります。子どもの快適な学級生活や学力向上・道德心の育成について、実践事例を紹介します。

### **選択領域：Aコース ヒューマンeラーニング講習「武道と青少年教育\*非行と前兆行動」**

### **赤沼 幸子**

#### **【略歴】**

八洲学園大学教授。千葉県警察で23年間少年補導専門員として非行少年の補導や、少年に関する相談、児童虐待に関する事案、犯罪の被害者になった少年の救済や安全対策等に従事。現在、法務省委嘱の保護司として非行少年や犯罪者の立ち直りを見守っています。

#### **【メッセージ】**

現代の少年非行の特徴は補導非行歴のない少年たちが強盗・傷害致死事件などの重大事件を起こすことから「いきなり型」といわれます。が、決して“いきなり”ではありません。自我が未成熟なので、心の中に急激な変化が起こりつつある時には必ず前駆的行動を示します。

その「前兆」を学んで、指導しやすい初期段階で対応すれば、非行は必ず防げます。前兆も非行自体も少年達の救助信号なのですから。

## **大石 純子**

### **【略歴】**

八洲学園大学准教授。筑波大学体育専門学群卒業。筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻修了（体育学修士）。剣道錬士六段。「中高生の武道スポーツと人間形成（演習）」、「日本武道の歴史」などの授業を担当。

### **【受講者へのメッセージ】**

新しい学習指導要領では、中学校において武道が必修の扱いとなっています。このことは、保健体育科教員だけの問題としてではなく、学校教育全体に関わることで受け止める姿勢も大切なのではないでしょうか。武道について、一緒に考えてみましょう。

## **選択領域：B コース ヒューマンeラーニング講習「子どもを育む学校図書館\*共感を育成する古典指導法」**

## **高鷲 忠美**

### **【略歴】**

八洲学園大学教授兼附属図書館長。東京学芸大学教育学部卒業。文部省図書館職員養成所（現・筑波大学図書館情報学群）卒業。静岡女子短期大学（後に静岡県立大学短期大学部）講師、助教授を経て、東京学芸大学教授・附属教育実践総合センター長、附属図書館長を経て、現職。

### **【メッセージ】**

現在、教育界でも子どもの「読書」に関心が高まっています。新学習指導要領でいう「言語活動の充実」にも「読書」は欠かせません。学校で「読書」を中心的に担うのは学校図書館です。「読書センター」として、「学習情報センター」としての学校図書館の目的を踏まえながら、学校図書館を学校教育のインフラとしていかに構築するか、なぜ構築しなければならないのかを、お話ししたいと思います。

## **中田 雅敏**

### **【略歴】**

八洲学園大学教授。昭和20年、埼玉県に生まれる。公立高校を30年間務め、その後目白大学客員教授を経て、現在に至る。家庭教育課程長、教務委員長を務める。現在、八洲学園大学国際高校校長兼務。韓国韓瑞大学客員教授、中国廈門大学客座教授。日本家庭教育学会理事長、俳人協会幹事。

### **【メッセージ】**

埼玉文芸賞二回、俳人協会評論新人賞受賞。短歌を窪田章一郎先生に、俳句を安東次男先生に学ぶ。30歳より創作を続け今日に至る。公立高校では、埼玉県高校教員採用試験問題作成委員及び採用試験委員を務める。初任者研修、5年次研修、10年次研修等の研修委員を務める。現在は、埼玉県教育委員会、埼玉県歯科医師会共催の小中学生「歯の健康に関

する標語コンクール」審査委員長、人権作文コンクール審査委員などを務める。  
短歌・俳句の指導について学校では困難なこともあり、まま単元が扱われないことがある。  
本講座ではこのように韻文をめぐる教授の方法について講じる。実際に簡単な創作を試みながら、具体的な方法について講義を進める。

## 選択領域：Cコース ヒューマンeラーニング講習「教師に役立つ教育行政\*公共論」

### 石井 雅之

#### 【略歴】

八洲学園大学教授。筑波大学第一学群人文学類卒業。筑波大学大学院博士課程哲学・思想研究科(倫理学専攻)単位取得退学。文学修士。横浜国立大学教育人間科学部非常勤講師などを経て、現在に至る。担当科目は「公共精神の育成(演習)」「正義感の育成」「西欧倫理思想概論」「現代社会の倫理的課題」「人生の哲学と人間形成」など。

#### 【受講者へのメッセージ】

講習を担当するにあたっては、どなたでも、楽な気持ちで受講していただけるようにと考えています。また同時に、貴重な時間をあてて受ける講習ですので、どなたにも何らかの意義あるものにできればとも思っております。現在多くの人が関心を寄せる公共論・公共心について、この機会にご一緒に考えてみませんか。

### 齋藤 荘之助

#### 【略歴】

八洲学園大学客員教授。元神奈川県教育長、元同県立短大教授・学長。「学校週5日制と家庭・学校・地域論」「教育と法(教育基本法、社会教育関係法、地方教育行政組織運営法含む)」などを担当。

#### 【受講者へのメッセージ】

学校教育は現場の教員の創意・工夫によって生き生きと行われなければならないが、同時に、あらゆる制約から完全に自由ではあり得ない。

多くの教員は、教育の理念に基いて展開される国の行政の大枠の中でその創造性を発揮するよう日々努力している。

したがって、学校教育の現場を担当する教員にとって、教育行政の動向を適確に把握することが極めて必要であるが、そのためには、教育行政の様々な原則、生身の人間を育てるという他の行政とは異なる原則を理解することが非常に重要である。

この講義では、現実に生起している教育の問題にも触れながら、教育行政の原則とその動向について学ぶこととする。